

リーダー中心に練習重ね 本番で最高の出来 幸崎中文化祭 「みつわ祭」

学年ごとの劇や群読、合唱、郷土芸能と多くの演目のある幸崎中学校の文化祭「みつわ祭」が10月26日（土）に行われました。

まずは文化部の活動報告がありました。まなボードの制作や野菜作り、百人一首の取組については、面白い映像もありました。多種多様な成果は展示物にもあふれていました。



次に1年生の創作劇「あなたの夢をあきらめないで～幸崎のHERO 南山物語～」では、幸崎中の校章でもある「三つの輪」をデザインされた清水南山先生の生涯をわかりやすく劇で演じました。地元の先人を描くことで、郷土への思いを深くしました。



全校群読『平家物語』（「祇園精舎」「那須与一」）では、グループごとの練習や、毎年指導をいただいている「ぼっこの会」のいくら近子さんのご指導を経て、本番で最も共鳴した群読となりました。「扇もくしに定まらずひらめい」ていたものが、「扇も射よげにぞなった」ほどの与一の極限の集中と、「平家物語」の無常観が表現できていました。



2年生の創作劇「インサイド・ハート～職場体験を通して～」では、9月に10の事業所にお世話になり4年ぶりに行われた「職場体験学習」で得た貴重な経験をもとに、考えたことや自分たちの成長を堂々と演じました。



3年生の創作劇「I have a dream…? ～未来に咲く夢～」は、進路決定を前に、未来へのあこがれ、不安や葛藤などを工夫した演出を織り交ぜ、ダンスも加えて、鮮やかに表現しました。



午前の部最後の全校合唱は、「空は今」と「fight」を披露しました。歌を歌うことの楽しさとハーモニーを作り上げる面白さを実感した生徒たちが作り上げる合唱は、迫力と見ごたえを感じました。

昼の展示は盛りだくさんでした。体育館後方や技術室に作品の展示、職員室前の窓にレポートの掲示があり、展示発表については、今年は推し作品コンテストと題して、素敵だと思った作品にクロームブックで投票しました。ポップコンテストもありました。

午後からは、郷土芸能「獅子太鼓」。3年生と一緒に披露できる最後の機会でした。9月に保存会の萩さんからご指導いただき、さらに演奏と舞に迫力が出てきました。勇壮なリズムの渦の中で、郷土への思いが広がったことと思います。



あらためて保護者・地域の方々に支えられている「みつわ祭」と思いました。お休みの中、最後までのご観覧ありがとうございました。